



TITLE:

東亞天文協會定期總會：豫報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

東亞天文協會定期總會：豫報. 天界 1942, 22(252): 199-199

ISSUE DATE:

1942-05-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168381>

RIGHT:

## 東 亞 天 文 協 會 定 期 總 會 (豫 報)

来る五月24日(日曜日)、田上天文臺に於いて下記の如く、本會定期總會を開く。之れを兼ねて、田上天文臺の新築落成披露式を舉ぐるにつき、會員諸氏の御來會を望む。

五月24日(日曜日) 12時開會

- |                           |                                   |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 1. 歡 迎 の 辭                | 會 長 山 本 一 清 氏                     |
| 2. 紀 念 の 會 食 會            |                                   |
| 3. 田上天文臺の設計及び建築に關する經過報告演説 | 山 本 一 清 氏                         |
| 4. 祝 詞                    | 諸 氏                               |
| 5. 遊星惑星源流に關する講演           | 井 本 進 氏                           |
| 6. 協會の事務に關する協議            | { 理 事 長 宮 森 作 造 氏<br>專務理事 中 村 覺 氏 |
| 7. 解 散 (15時)              |                                   |

尙、田上天文臺内の各觀測室、研究室等々には、諸器械其の他の參考品を陳列し、隨時縱覽を乞ふ。成るべく、定刻以前に來着され、ゆつくり參觀されたし、交通は全部草津驛(東海道線)よりすること。驛前には人車、自動車、馬車、厚生車等あり。又、一時、自轉車を貸す家も數ヶ所あり。之れ等を各自任意に利用されたし。草津驛より天文臺(上田上村桐生)までは、約6軒(一里半)で、草津川の堤防上、全部極めて平坦な縣道であるから、自轉車には最適の道路であり、又、ハイキング・コースとしても宜し。

時局柄につき、會食に参加する人々は、各自辨當持參の事。

東 亞 天 文 協 會

## ★ 防 空 監 視 (8 句)

燈管のわれも防人星をかぶり	吉岡禪寺洞
おいなる力が星の夜天とある	綾部王春
かゝる夜の國はじまりし星とゐる	同
かんさびのわれらの國土星ひかれり	同
星ひかりたくましき寢の民族あり	同
八紘に星くづおつるひゞきもなく	同
火星出でぬ防空光芒うすき夜の	富岡美成
星にふれ防空監視兵たてり	木村しげる